

(一社) 港湾空港技術コンサルタンツ協会 令和5年度「港湾の現状に関する説明会」を実施

(一社) 港湾空港技術コンサルタンツ協会（港コン協：柴木秀之会長、会員数：39社）は、12月7日（木）に、国土交通省港湾局から講師を招請し、令和5年度「港湾の現状に関する説明会」を実施しました。

「港湾の現状に関する説明会」は、例年12月に、港湾の整備や施策等に関する最新情報を港コン協会員に提供することを目的に開催されており、今年度は昨年度に引き続き、Web併用での開催となった。Web 参加者を含めて、会員企業から約120名が聴講しました。

港コン協の角野隆企画委員長の開会挨拶に続き、港湾局技術企画課の浅見尚史建設企画室長から、「港湾行政の最近の動向について」と題して、港湾関係予算の他、港湾におけるデジタル化（サイバーポート(港湾インフラ分野)の推進)、プレキャスト工法導入促進、i-Construction推進など直轄事業の実施に向けた取り組みなど最新の情報が提供されました。

後半は、港湾局CNP推進室の柳幸一課長補佐から、「カーボンニュートラルポート（CNP）の形成に向けて」と題して、温室効果ガス削減に向けた世界と我が国の動向、CNPの形成に向けた取組、体制構築、国際連携などCNPに関する最新の情報が提供されました。

各々の講演後活発な意見交換がなされました。



写真は左から、講演する港湾局技術企画課浅見建設企画室長、港湾局CNP推進室柳幸一課長補佐

以上

文責 港コン協 企画委員 吉田秀樹